

経緯

『国の国土強靱化基本計画』

1 H26.6.3 策定

大規模自然災害発生時に、人命を守り、経済社会への被害が致命的にならず（ショック耐性＝強さ）、迅速に回復する（回復力＝しなやかさ）、国土及び経済システムの平時からの構築を目的

2 H30.12.14 変更

- 災害から得られた知見や社会情勢の変化等を反映
- 重点化すべきプログラム等20プログラムの選定
- プログラムの推進を図るため、防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策（財政措置）を閣議決定

『青森県国土強靱化地域計画』

1 H29.3.27 策定

※県計画は、基本計画と調和を図り策定

2 R1.8.30 追補版の策定

- 国の基本計画（H30.12月変更）を踏まえて追加すべき対応方策をとりまとめ
- <現行計画の進捗管理の一環として>
- 現行計画策定後の主なる成果と取組状況
 - 重要業績評価指標（参考値）の進捗状況
 - （別紙）主な事業の一覧表（個別の事業名、実施か所*）を記載
※これらの項目を記載することが国の交付金・補助金の優先採択等の要件とされているため

見直し内容

現行の青森県国土強靱化地域計画については、計画期間を概ね5年としており、令和4年3月で計画期間が満了となることから、次の見直しを行った上で、計画期間を令和4年度から令和8年度までとした新たな5か年の計画とする。

1 国土強靱化基本計画の変更（平成30年12月）を踏まえた表記の整合性などを見直し

- ①「事前に備えるべき目標」について、表記を見直し
（例）「**人命の保護が最大限図られること**」→「**直接死を最大限防ぐこと**」
- ②「起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）」について、表記等を見直し・項目の追加
（例：**特筆すべき項目として分離・独立**）「**劣悪な避難生活環境**」、「**不十分な健康管理による多数の被災者の健康状態の悪化・死者の発生**」、「**防災インフラの長期間にわたる機能保全**」

2 5か年加速化対策（令和2年12月）に関連する対応方策及びその取組を追加・修正

- 国では「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」（H30～R2年度）が終了となることから、令和3～7年度における5か年の対策を策定（R2.12月閣議決定）
- 5か年で対策を加速化する3分野（①激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策、②予防保全型インフラメンテナンスへの転換に向けた老朽化対策の加速、③国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進）**123対策のうち、県に関連する40対策を追加・修正**

【県に関連する対策（例）】

- （分野①）流域治水対策（河川施設等、農業水利施設の整備、水田の貯留機能向上）、高規格道路と県道とのダブルネットワーク化等による道路ネットワークの機能強化対策
- （分野②）堤防・水門等河川管理施設の老朽化対策及び高度化・効率化対策
- （分野③）海岸水門等の遠隔操作化

3 国からの通知による見直し

現計画別紙「主な事業」に総事業費、5か年加速化対策事業該当の別、現況を記載

4 その他

重要業績評価指標の更新等

現計画、追補版との構成の比較

現行計画	追補版	見直し（素案）	備考
第1章 計画策定の趣旨・位置付け	(追補版の策定趣旨)	現行計画と同じ	時点修正等
第2章 基本的な考え方	—		
第3章 想定するリスク	—		
第4章 脆弱性評価	—		
第5章 脆弱性評価結果に基づく対応方針	—		
【リスクシナリオごとの対応方策】	【リスクシナリオごとの対応方策】 ※追補分のみ	(別掲として整理)	1 国土強靱化基本計画 (H30.12) の変更を踏まえた表記の整合性などの見直し 2 5か年加速化対策 (R2.12) に関連する対応方策及びその取組を修正・追加 4 その他時点修正
(目次)	—	—	
(概要) ※リスクシナリオ、対応方策の取組一覧等	(概要) ※リスクシナリオ、対応方策の取組一覧等	(概要) ※リスクシナリオ、対応方策の取組一覧等	
(全文) ※具体的取組	(全文) ※具体的取組	(全文) ※具体的取組	
第6章 計画の推進	—	現行計画と同じ	時点修正等
資料1 対応方策に係る役割分担一覧表	—	資料1 対応方策に係る役割分担一覧表	時点修正等
資料2 計画策定までの経過	—	—	
	参考1 現行計画策定後の主なる成果と取組状況	—	主な事業に現況を記載することとしたため削除
	参考2 重要業績評価指標(参考値)の進捗状況	(令和5年度以降随時)	令和5年度に令和4年度の進捗状況を掲載(以下毎年度)
	(別紙) 地域計画に関連する主な事業	資料2 地域計画に関連する主な事業	3 国からの通知による見直し(総事業費、5か年加速化対策事業該当の別、現況を追加) ※毎年度更新

別紙 資料一覧

1 国土強靱化基本計画の変更（平成30年12月）を踏まえた表記の整合性などを見直し

- 資料1の1 「事前に備えるべき目標」及び「起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）」の見直し（見消し）
- 資料1の2 リスクシナリオごとの対応方策（概要）（見消し）
- 資料1の3 国土強靱化基本計画（平成30年12月）

2 5か年加速化対策（令和2年12月）に関連する対応方策及びその取組を追加・修正

- 資料2の1 5か年加速化対策の概要と対策例
- 資料2の2 見直し例

3 国からの通知による見直し

- 資料3 地域計画に関連する主な事業に総事業費等を追加

凡例（資料共通）

青字 追加した文字、赤字 削除した文字

背景色 青 追加した項目、灰色 削除した項目

事前に備えるべき目標	起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）
<p>1 人命の保護が最大限図られること 直接死を最大限防ぐこと</p>	<p>1-1 地震等による建築物の倒壊や住宅密集地における火災による死傷者の発生 1-2 大規模津波等による多数の死傷者の発生 1-3 異常気象等による広域的かつ長期的な市街地の浸水や河川の大規模氾濫 1-4 火山噴火や土砂災害等による多数の死傷者の発生のみならず、後年度にわたり県土の脆弱性が高まる事態 1-5 暴風雪や豪雪による重大事故や交通途絶等に伴う多数の死傷者の発生 1-6 情報伝達の不備、麻痺、長期停止や防災意識の低さ等による避難行動の遅れ等に伴う多数の死傷者の発生</p>
<p>2 救助・救急、医療活動等が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保すること</p>	<p>2-1 被災地での食料・飲料水・燃料等、生命に関わる物資・エネルギー供給の長期停止 2-2 多数かつ長期にわたる孤立集落地域等の同時発生 2-3 自衛隊、警察、消防、海保等の被災等により救助・救急活動等が実施できない事態 2-4 救助・救急、医療活動のためのエネルギー供給の長期途絶 2-5 想定を超える大量かつ長期の帰宅困難者（県外からの来訪客等）への水・食料等の供給不足の発生・混乱 2-6 医療施設及び関係者の絶対的不足・被災、支援ルートの途絶による医療機能の麻痺 2-7 被災地における疾病・感染症等の大規模発生 2-8 劣悪な避難生活環境、不十分な健康管理による多数の被災者の健康状態の悪化・死者の発生</p>
<p>3 必要不可欠な行政機能と情報通信機能・情報サービスを確保すること</p>	<p>3-1 行政機関の職員・施設等の被災による行政機能の大幅な低下 3-2 信号機の全面停止等による重大交通事故の多発 3-3 電力供給停止等による情報通信防災・災害対応に必要な通信インフラ及び情報サービスの麻痺・長期停止</p>
<p>4 経済活動を機能不全に陥らせないこと</p>	<p>4-1 サプライチェーンの寸断等による経済活動の停滞 4-2 社会経済活動、サプライチェーンの維持に必要なエネルギー供給の停止 4-3 石油コンビナート等の損壊、火災、爆発等 4-4 基幹的交通ネットワーク（陸上・海上・航空）の機能停止 4-5 食料等の安定供給の停滞</p>
<p>5 必要最低限のライフライン等を確保するとともに、これらの早期復旧を図ること</p>	<p>5-1 電気・石油・ガス等のエネルギー供給機能の長期停止 5-2 上水道等の長期間にわたる機能停止 5-3 汚水処理施設等の長期間にわたる機能停止 5-4 鉄道・幹線道路等の基幹インフラや地域交通ネットワークが分断する事態 5-5 防災インフラの長期間にわたる機能不全</p>
<p>6 重大な二次災害を発生させないこと</p>	<p>6-1 ため池、ダム、防災施設インフラ、天然ダム等の損壊・機能不全による二次災害の発生 6-2 有害物質の大規模流出・拡散 6-3 原子力施設からの放射性物質の放出 6-4 農地・森林等の荒廃による被害の拡大 6-5 風評被害等による地域経済等への甚大な影響（7-4へ移動）</p>
<p>7 地域社会・経済が迅速にかつ従前より強靱な姿で再建・回復できる条件を整備すること</p>	<p>7-1 大量に発生する災害廃棄物の処理の停滞により復旧・復興が大幅に遅れる事態 7-2 道路啓開等の復旧・復興を担う人材等の不足により復旧・復興が大幅に遅れる事態 7-3 地域コミュニティの崩壊、治安の悪化等により復旧・復興が大幅に遅れる事態 7-4 鉄道・幹線道路等の基幹インフラの損壊により復旧・復興が大幅に遅れる事態（5-4を修正し統合） 7-4 風評被害等による地域経済等への甚大な影響（6-5から移動）</p>

事前に備えるべき目標

- 1 大命の保護が最大限図られること 直接死を最大限防ぐこと

リスクシナリオ

1-1 地震等による建築物の倒壊や住宅密集地における火災による死傷者の発生

※人命に直接的・重大な影響を及ぼすリスクシナリオ

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

地震等による建築物の倒壊や住宅密集地における火災による死傷者の発生を防ぐため、建築物等の耐震化や老朽化対策を推進するとともに、住民の避難場所の確保や防災意識の醸成、救助活動を実施する消防力の向上等を図る。

対応方策一覧

【住宅・病院・学校等の耐震化】

- ・住宅・建築物の耐震化による地震対策
- ・大規模建築物の耐震化
- ・公営住宅の耐震化・老朽化対策 老朽化した公営住宅の建替による防災・減災対策
- ・病院施設の耐震化・老朽化対策
- ・社会福祉施設等の耐震化
- ・公立学校施設等の耐震化・老朽化対策
- ・私立学校の耐震化
- ・建築物等からの二次災害防止対策
- ・文化財の防災対策の推進
- ・ブロック塀等の安全対策
- ・学校施設等の非構造部材の耐震化

【公共建築物・防災施設等の耐震化・老朽化対策】

- ・公共建築物・インフラ施設の耐震化・老朽化対策
- ・県・市町村庁舎、消防本部庁舎等の耐震化・老朽化対策
- ・警察施設の耐震化・老朽化対策
- ・港湾・漁港施設の耐震化・老朽化対策 耐震・耐津波・耐浪化等の対策
- ・ため池施設の耐震化・老朽化対策 防災重点農業用ため池の防災・減災対策

【市街地の防災対策】

- ・都市公園における防災・老朽化対策
- ・災害に強い市街地形成に関する対策
- ・幹線街路の整備
- ・大規模盛土造成地等の耐震化に向けた対策
- ・市街地等の緊急輸送道路における無電柱化対策

【道路施設の防災対策】

- ・緊急輸送道路の機能強化・老朽化対策
- ・緊急輸送道路以外の道路の機能強化・老朽化対策
- ・市町村管理農道・林道の機能保全・老朽化対策

【鉄道施設の耐災害性の確保・体制の整備】

- ・鉄道施設の耐災害性の確保・体制の整備
- ・青い森鉄道の耐災害性の確保・体制の整備

【空き家対策】

- ・空き家対策

【防火対策・消防力強化】

- ・防火対策
- ・消防力の強化
- ・消防団の充実
- ・防災ヘリコプター等の活動の確保

【石油コンビナート等防災計画に基づく防災体制の充実】

- ・石油コンビナート等防災計画に基づく特別防災区域の防災対策

【避難場所の指定・確保】

- ・指定緊急避難場所及び指定避難所の指定
- ・福祉避難所の指定→協定締結
- ・福祉避難所の開設・運営マニュアルの作成
- ・防災公共の推進
- ・福祉施設・学校施設等の安全対策

【避難行動支援】

- ・避難行動要支援者名簿の作成更新
- ・避難行動要支援者名簿の活用

【防災意識の啓発・地域防災力の向上】

- ・自主防災組織の設立・活性化支援
- ・防災意識の啓発
- ・防災訓練の推進
- ・地区防災計画策定の推進

事前に備えるべき目標

- 1 人命の保護が最大限図られること 直接死を最大限防ぐこと

リスクシナリオ

- 1-2 大規模津波等による多数の死傷者の発生

※人命に直接的・重大な影響を及ぼすリスクシナリオ

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

大規模津波等による多数の死傷者の発生を防ぐため、津波防災施設等の整備や老朽化対策を推進するとともに、警戒・避難体制の整備や住民の避難場所の確保、救助活動を実施する消防力の向上等を図る。

対応方策一覧

【津波防災施設の整備】

- ・ 津波防災施設の整備 海岸保全施設の老朽化対策
- ・ 海岸陸間の管理体制の強化
- ・ 流域治水対策（海岸）

【津波防災地域づくりの推進】

- ・ 津波防災地域づくりの推進

【河川・海岸施設の耐震化・老朽化対策】

- ・ 河川関連施設の耐震化・老朽化対策

【警戒避難体制の整備】

- ・ 津波浸水想定の設定・津波災害警戒区域の指定
- ・ 地震・津波被害想定調査の実施
- ・ 津波ハザードマップの作成
- ・ 漁船避難ルールづくりの促進

【避難場所の指定・確保】

- ・ 指定緊急避難場所及び指定避難所の指定
- ・ 福祉避難所の指定→協定締結
- ・ 福祉避難所の開設・運営マニュアルの作成
- ・ 防災公共の推進
- ・ 福祉施設・学校施設等の安全対策
- ・ 都市公園における防災・老朽化対策

【避難行動支援】

- ・ 避難行動要支援者名簿の 作成更新
- ・ 避難行動要支援者名簿の活用

【消防力の強化】

- ・ 消防力の強化
- ・ 消防団の充実
- ・ 消防団員の安全確保

【防災意識の啓発・地域防災力の向上】

- ・ 自主防災組織の設立・活性化支援
- ・ 防災意識の啓発
- ・ 防災訓練の推進
- ・ 地区防災計画策定の推進

事前に備えるべき目標

- 1 **人命の保護が最大限図られること** **直接死を最大限防ぐこと**

リスクシナリオ

1-3 異常気象等による広域的かつ長期的な市街地の浸水や河川の大規模氾濫

※人命に直接的・重大な影響を及ぼすリスクシナリオ

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

広域的かつ長期的な市街地等の浸水や河川の大規模氾濫による被害の発生を防ぐため、河川・ダム施設等の防災対策を推進するとともに、警戒・避難体制の整備や住民の避難場所の確保、救助活動を実施する消防力の向上等を図る。

対応方策一覧

【河川改修等の治水対策】

- ・河川改修等の治水対策

【河川・ダム施設等の防災対策】

- ・河川関連施設の耐震化・老朽化対策
- ・内水危険個所の被害防止対策
- ・**農業用ダム→ため池の防災対策**
- ・**農業水利施設等の**防災対策**→**老朽化対策****老朽化、豪雨・地震対策****
- ・**流域治水対策（海岸）**
- ・**流域治水対策（農業水利施設の整備）**
- ・**流域治水対策（水田の貯留機能向上）**
- ・**海岸保全施設の整備**
- ・土地利用状況を考慮した治水対策

【警戒避難体制の整備】

- ・洪水ハザードマップの作成
- ・内水ハザードマップの作成
- ・高潮浸水想定区域の指定
- ・避難**勧告等情報**発令の支援
- ・避難**勧告等情報**発令基準の**作成見直し**
- ・住民等への情報伝達手段の多様化
- ・県・市町村・防災関係機関における情報伝達

【避難場所の指定・確保】

- ・指定緊急避難場所及び指定避難所の指定
- ・**福祉避難所の開設・運営マニュアルの作成**
- ・防災公共の推進
- ・福祉施設・学校施設等の安全対策
- ・都市公園における防災・**老朽化対策**

【避難行動支援】

- ・避難行動要支援者名簿の**作成更新**
- ・避難行動要支援者名簿の活用

【消防力の強化】

- ・消防力の強化
- ・消防団の充実

【防災意識の啓発・地域防災力の向上】

- ・水防災意識社会再構築ビジョンの取組
- ・防災意識の啓発
- ・地区防災計画策定の推進
- ・水防団の充実強化

事前に備えるべき目標

- 1 人命の保護が最大限図られること 直接死を最大限防ぐこと

リスクシナリオ

- 1-4 火山噴火や土砂災害等による多数の死傷者の発生のみならず、後年度にわたり県土の脆弱性が高まる事態

※人命に直接的・重大な影響を及ぼすリスクシナリオ

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

火山噴火や土砂災害等による多数の死傷者の発生及び県土の脆弱性が高まる事態を防ぐため、警戒避難体制の整備や住民の防災意識の醸成、登山者等の安全対策等を推進するとともに、土砂災害対策施設の整備や老朽化対策の推進等を図る。

対応方策一覧

【警戒避難体制の整備（土砂災害）】

- ・土砂災害ハザードマップの作成・公表
- ・避難勧告等情報発令及び自主避難のための情報提供

【土砂災害対策施設の整備・老朽化対策】

- ・砂防関係施設の整備
- ・砂防関係施設の老朽化対策

【農山村地域における防災対策】

- ・農山村地域における防災対策
- ・山地災害危険地区等における治山対策
- ・山地災害危険地区等における森林整備対策

【警戒避難体制の整備（火山噴火）】

- ・岩木山の警戒避難体制の整備
- ・八甲田山の警戒避難体制の整備
- ・十和田の警戒避難体制の整備
- ・火山の警戒体制の強化

【登山者等の安全対策】

- ・登山者等の安全対策
- ・自然公園施設の整備・老朽化対策
- ・情報通信利用環境の強化

【避難場所の指定・確保】

- ・指定緊急避難場所及び指定避難所の指定
- ・福祉避難所の開設・運営マニュアルの作成
- ・防災公共の推進
- ・福祉施設・学校施設等の安全対策
- ・都市公園における防災・老朽化対策

【避難行動支援】

- ・避難行動要支援者名簿の作成更新
- ・避難行動要支援者名簿の活用

【消防力の強化】

- ・消防力の強化
- ・消防団の充実

【防災意識の啓発・地域防災力の向上】

- ・土砂災害に対する防災意識の啓発
- ・火山に対する防災意識の啓発
- ・自主防災組織の設立・活性化支援
- ・地区防災計画策定の推進

事前に備えるべき目標

- 1 人命の保護が最大限図られること 直接死を最大限防ぐこと

リスクシナリオ

1-5 暴風雪や豪雪による重大事故や交通途絶等に伴う多数の死傷者の発生

※人命に直接的・重大な影響を及ぼすリスクシナリオ

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

暴風雪や豪雪による重大事故や交通途絶等に伴う多数の死傷者の発生を防ぐため、道路交通の確保に向けた防雪施設の整備や除排雪体制の強化を推進するとともに、代替交通手段の確保や住民の防災意識の醸成等を図る。

対応方策一覧

【防雪施設の整備】

- ・ 防雪施設の整備

【道路交通の確保】

- ・ 除排雪体制の強化
- ・ 立ち往生車両の未然防止

【代替交通手段の確保】

- ・ 代替交通手段の確保

【情報通信の確保】

- ・ 情報通信利用環境の強化

【防災意識の啓発・地域防災力の向上】

- ・ 冬季の防災意識の啓発

事前に備えるべき目標

- 1 人命の保護が最大限図られること 直接死を最大限防ぐこと

リスクシナリオ

1-6 情報伝達の不備、麻痺、長期停止や防災意識の低さ等による避難行動の遅れ等に伴う多数の死傷者の発生

※人命に直接的・重大な影響を及ぼすリスクシナリオ

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

情報伝達の不備等に起因した避難行動の遅れ等による多数の死傷者の発生を防ぐため、行政機関における情報連絡体制や住民等への情報提供体制を強化するとともに、住民の防災意識の醸成や防災教育の推進等を図る。

対応方策一覧

【行政情報連絡体制の強化】

- ・ 県・市町村・防災関係機関における情報伝達

【住民等への情報伝達の強化】

- ・ 住民等への情報伝達手段の多様化
- ・ 情報通信利用環境の強化
- ・ 障害者等に対するICT利活用支援
- ・ 障害者等に対する避難情報伝達
- ・ 外国人観光客等に対する防災情報提供体制の強化

【防災意識の啓発・地域防災力の向上】

- ・ 防災意識の啓発
- ・ 防災情報の入手に関する普及啓発

【防災教育の推進・学校防災体制の確立】

- ・ 防災教育の推進
- ・ 学校防災体制の確立

事前に備えるべき目標

2 救助・救急、医療活動等が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保すること

リスクシナリオ

2-1 被災地での食料・飲料水・燃料等、生命に関わる物資・エネルギー供給の長期停止

※人命に直接的・重大な影響を及ぼすリスクシナリオ

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

被災地での食料・飲料水・燃料等、生命に関わる物資・エネルギー供給の長期停止を防ぐため、支援物資等の供給体制の確保や水道施設・物流関連施設の防災対策の推進を図る。

対応方策一覧

【支援物資等の供給体制の確保】

- ・非常物資の備蓄
- ・災害発生時の物流インフラの確保
- ・石油燃料供給の確保
- ・避難所等への燃料等供給の確保
- ・**災害被災地**応援の受入体制の構築
- ・救援物資等の受援体制の構築
- ・要配慮者（難病疾患等）への医療的支援
- ・災害用医薬品等の確保
- ・避難所における水等の確保

【水道施設の防災対策】

- ・水道施設の耐震化・老朽化対策
- ・応急給水資機材の整備
- ・水道施設の応急対策

【道路施設の防災対策】

- ・緊急輸送道路の機能強化・老朽化対策
- ・緊急輸送道路以外の道路の機能強化・老朽化対策
- ・市町村管理農道・林道の機能保全・老朽化対策
- ・道路における障害物の除去

【鉄道施設の耐災害性の確保・体制の整備】

- ・鉄道施設の耐災害性の確保・体制の整備
- ・青い森鉄道の耐災害性の確保・体制の整備

【港湾・漁港の防災対策】

- ・港湾・漁港施設の耐震化・老朽化対策耐震・耐津波・耐浪化等の対策

【空港の防災対策】

- ・空港の業務継続体制の維持・確保等

【食料生産体制の強化】

- ・食料生産体制の強化
- ・**流域治水対策（農業水利施設の整備）**
- ・農業水利施設等の**防災対策→老朽化対策老朽化、豪雨・地震対策**
- ・**農業→水産施設の老朽化対策**
- ・**園芸産地事業継続対策**

【河川・ダム施設等の防災対策】

- ・**流域治水対策（海岸）**

事前に備えるべき目標

2 救助・救急、医療活動等が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保すること

リスクシナリオ

2-2 多数かつ長期にわたる孤立集落地域等の同時発生

※人命に直接的・重大な影響を及ぼすリスクシナリオ

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

多数かつ長期にわたる孤立集落地域等の同時発生を防ぐため、孤立するおそれのある集落地域の把握や、これに通じる道路施設の防災対策を推進するとともに、代替交通・輸送手段の確保等を図る。

対応方策一覧

【集落地域の孤立防止対策】

- ・ 集落地域の孤立防止対策

【孤立集落地域発生時の支援体制の構築】

- ・ 孤立集落地域発生時の支援体制の確保

【代替交通・輸送手段の確保】

- ・ 代替交通手段の確保
- ・ 代替輸送手段の確保

【防災ヘリコプターの運航の確保】

- ・ 防災ヘリコプターの連携体制の確立
- ・ 防災ヘリコプター等の活動の確保

【ドクターヘリの運航の確保】

- ・ ドクターヘリの運航確保

【情報通信の確保】

- ・ 情報通信利用環境の強化

【道路施設の防災対策】

- ・ 緊急輸送道路の機能強化・老朽化対策
- ・ 緊急輸送道路以外の道路の機能強化・老朽化対策
- ・ 市町村管理農道・林道の機能保全・老朽化対策
- ・ 復旧作業等に係る技術者等の確保
- ・ 道路における障害物の除去

事前に備えるべき目標

2 救助・救急、医療活動等が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保すること

リスクシナリオ

2-3 自衛隊、警察、消防、海保等の被災等により救助・救急活動等が実施できない事態

※人命に直接的・重大な影響を及ぼすリスクシナリオ

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

自衛隊、警察、消防、海保等が有する救助・救急活動等の能力を十分に発揮できない事態や、被災等により活動できない事態を防ぐため、防災関連施設の耐震化・老朽化対策等を推進するとともに、関係機関の連携強化、救急・救助体制の強化や受援体制の構築等を図る。

対応方策一覧

【防災関連施設の耐震化・老朽対策】

- ・ 県・市町村庁舎、消防本部^{庁舎}等の耐震化・老朽化

対策

- ・ 警察施設の耐震化・老朽化対策

【災害対策本部等機能の強化】

- ・ 災害対策本部機能の強化
- ・ **災害警備本部機能の強化**

【関係機関の連携強化・防災訓練の推進】

- ・ 災害発生時の緊急消防援助隊の連携強化
- ・ 防災航空隊への航空支援

警察機能の維持

- ・ 医療従事者確保に係る連携体制
- ・ 総合防災訓練の実施
- ・ 図上訓練の実施

【救急・救助活動の体制強化】

- ・ 消防力の強化
- ・ 消防団の充実
- ・ 災害医療・救急救護・福祉支援に携わる人材の育成
- ・ 救急・救助活動等の体制強化

【支援物資等の供給体制の確保】

- ・ **災害被災地** 応援の受入体制の構築
- ・ 救援物資等の受援体制の構築

【防災意識の啓発・地域防災力の向上】

- ・ 防災意識の啓発
- ・ 防災訓練の推進
- ・ 自主防災組織の設立・活性化支援
- ・ 地域防災リーダーの育成
- ・ 地区防災計画策定の推進

事前に備えるべき目標

2 救助・救急、医療活動等が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保すること

リスクシナリオ

2-4 救助・救急、医療活動のためのエネルギー供給の長期途絶

※人命に直接的・重大な影響を及ぼすリスクシナリオ

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

救助・救急、医療活動のためのエネルギー供給の長期途絶を防ぐため、緊急車両・災害拠点病院等に対する燃料供給の確保や、輸送路の確保を図る。

対応方策一覧

【緊急車両・災害拠点病院に対する燃料の確保】

- ・石油燃料供給の確保
- ・緊急車両等への燃料供給の確保
- ・警察車両等への燃料供給の確保
- ・医療施設の燃料等確保

【防災ヘリ・ドクターヘリの燃料の確保】

- ・防災ヘリコプターの燃料確保
- ・ドクターヘリの燃料確保

【道路施設の防災対策】

- ・緊急輸送道路の機能強化・老朽化対策
- ・緊急輸送道路以外の道路の機能強化・老朽化対策
- ・市町村管理農道・林道の機能保全・老朽化対策
- ・道路における障害物の除去

事前に備えるべき目標

2 救助・救急、医療活動等が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保すること

リスクシナリオ

2-5 想定を超える大量かつ長期の帰宅困難者（県外からの来訪客等）への水・食料等の供給不足の発生・混乱

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

祭り期間中の災害発生等により、多数の県外来訪客等が避難できない事態や、避難生活が長期にわたること等の発生により水・食料等の供給が不足する事態等の混乱を防ぐため、避難場所や支援物資の供給を確保する。

また、外国人観光客等に対する情報提供体制の強化等を図る。

対応方策一覧

【帰宅困難者の避難体制の確保】

- ・観光客の避難体制の強化
- ・観光客等に対する避難所等の確保

【支援物資等の供給体制の確保】

- ・非常物資の備蓄
- ・応急給水資機材の整備
- ・災害被災地応援の受入体制の構築

- ・救援物資等の受援体制の構築

【情報伝達の強化】

- ・外国人観光客等に対する防災情報提供体制の強化
- ・交通規制等の交通情報提供

【帰宅困難者の輸送手段の確保】

- ・バスによる帰宅困難者の輸送

事前に備えるべき目標

2 救助・救急、医療活動等が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保すること

リスクシナリオ

2-6 医療施設及び関係者の絶対的不足・被災、支援ルートへの途絶による医療機能の麻痺

※人命に直接的・重大な影響を及ぼすリスクシナリオ

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

医療施設及び関係者の絶対的不足等による医療機能の麻痺を防ぐため、病院・福祉施設等の耐震化を推進するとともに、医療圏単位での医療連携体制の構築や災害医療派遣等による連携体制の構築等を行う。

また、避難に当たり配慮を要する方々に対する支援体制を構築する。

対応方策一覧

【病院・福祉施設等の耐震化】

- ・病院施設の耐震化・**老朽化対策**
- ・社会福祉施設等の耐震化

【災害発生時における医療提供体制の構築】

- ・災害時医療の連携体制
- ・災害医療・救急救護・福祉支援に携わる人材の育成
- ・医療従事者確保に係る連携体制
- ・お薬手帳の利用啓発
- ・保健医療の連携体制
- ・応急手当等の普及啓発
- ・医療機関における水源の確保
- ・広域搬送の体制の確保

【ドクターヘリの運航の確保】

- ・ドクターヘリの運航確保

【防災ヘリコプターの運航の確保】

- ・防災ヘリコプターの連携体制の確立

【避難者の健康対策】

- ・避難所外避難者の**把握等**の対策
- ・長期間にわたる避難生活対策

【要配慮者への支援等】

- ・要配慮者等への支援
- ・男女のニーズの違い等に配慮した支援
- ・心のケア体制の確保
- ・児童生徒の心のサポート
- ・外国人観光客等に対する防災情報提供体制の強化
- ・動物救護対策

【道路施設の防災対策】

- ・緊急輸送道路の機能強化・老朽化対策
- ・緊急輸送道路以外の道路の機能強化・老朽化対策
- ・市町村管理農道・林道の機能保全・老朽化対策
- ・道路における障害物の除去

事前に備えるべき目標

2 救助・救急、医療活動等が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保すること

リスクシナリオ

2-7 被災地における疾病・感染症等の大規模発生

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

被災地における**疫病疾病**・感染症等の大規模発生を防ぐため、避難所における良好な生活環境の確保や平時における予防接種等を推進するとともに、下水道施設の機能確保を図る。

対応方策一覧

【感染症対策】

- ・ 避難所における衛生環境の維持
- ・ 感染症への意識向上及び対応策の整備
- ・ 予防接種の促進

【下水道施設の機能確保】

- ・ **下水道施設の耐震化・老朽化対策**
- ・ **下水道施設の地震対策**
- ・ **下水道施設の老朽化対策**
- ・ 農業集落排水施設等の耐震化・老朽化対策
- ・ **農業集落排水施設等の耐災害性の確保**
- ・ 下水道事業の業務継続計画の策定

事前に備えるべき目標

2 救助・救急、医療活動等が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保すること

リスクシナリオ

2-8 劣悪な避難生活環境、不十分な健康管理による多数の被災者の健康状態の悪化・死者の発生

※人命に直接的・重大な影響を及ぼすリスクシナリオ

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

劣悪な避難生活環境、不十分な健康管理による多数の被災者の健康状態の悪化・死者の発生を防ぐため、非常物資の備蓄、避難者の健康対策、要配慮者への支援及び保健医療の連携強化等を図る。

対応方策一覧

【住宅・病院・学校等の耐震化】

- ・住宅・建築物の耐震化による地震対策
- ・老朽化した公営住宅の建替による防災・減災対策
- ・病院施設の耐震化・老朽化対策
- ・社会福祉施設等の耐震化
- ・公立学校施設等の耐震化・老朽化対策
- ・私立学校の耐震化

【避難場所の指定・確保】

- ・指定緊急避難場所及び指定避難所の指定
- ・福祉避難所の開設・運営マニュアルの作成
- ・防災公共の推進
- ・福祉施設・学校施設等の安全対策

【支援物資等の供給体制の確保】

- ・非常物資の備蓄
- ・要配慮者（難病疾患等）への医療的支援
- ・災害用医薬品等の確保
- ・避難所における水等の確保

【災害発生時における医療提供体制の構築】

- ・災害時医療の連携体制
- ・お薬手帳の利用啓発
- ・保健医療の連携体制
- ・応急手当等の普及啓発
- ・医療機関における水源の確保
- ・広域搬送の体制の確保

【避難者の健康対策】

- ・避難所外避難者の把握等の対策
- ・長期間にわたる避難生活対策

【要配慮者への支援等】

- ・要配慮者等への支援
- ・男女のニーズの違い等に配慮した支援
- ・心のケア体制の確保
- ・児童生徒の心のサポート

事前に備えるべき目標

3 必要不可欠な行政機能と情報通信機能・情報サービスを確保すること

リスクシナリオ

3-1 行政機関の職員・施設等の被災による行政機能の大幅な低下

※人命に直接的・重大な影響を及ぼすリスクシナリオ

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

行政機関の職員・施設等の被災による行政機能の大幅な低下を防ぐため、庁舎等の耐震化・老朽化対策や情報通信基盤の耐災害性の強化を推進するとともに、業務継続計画の策定や応援・受援体制の構築等を図る。

対応方策一覧

【災害対応庁舎等における機能の確保】

- ・ 公共建築物・インフラ施設の耐震化・老朽化対策
- ・ 県・市町村庁舎、消防本部庁舎等の耐震化・老朽化対策

- ・ 警察施設の耐震化・老朽化対策
- ・ 代替庁舎の確保・災害警備本部機能の移転訓練
- ・ 行政施設の非常用電源の整備
- ・ 警察本部等の非常用電源の整備

【行政情報通信基盤の耐災害性の強化】

- ・ 県・市町村・防災関係機関における情報伝達
- ・ 行政情報通信基盤の耐災害性の強化
- ・ 行政情報の災害対策

【行政機関の業務継続計画の策定】

- ・ 県及び市町村の業務継続計画の策定

【災害対策本部等機能の強化】

- ・ 災害対策本部機能の強化
- ・ **災害警備本部機能の強化**

【受援・連携体制の構築】

- ・ 県内市町村の広域連携体制の構築
- ・ **災害被災地**応援の受入体制の構築

【被災地の社会秩序の維持】

- ・ 被災地の社会秩序の維持
- ・ 留置非常計画の策定・護送訓練の実施

- ・ **警察機能の維持**

【防災訓練の推進】

- ・ 総合防災訓練の実施
- ・ 図上訓練の実施

事前に備えるべき目標

3 必要不可欠な行政機能と情報通信機能・情報サービスを確保すること

リスクシナリオ

3-2 信号機の全面停止等による重大交通事故の多発

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

信号機の全面停止等による重大交通事故の多発を防ぐため、信号機の電源対策や交通整理人員の確保等を図る。

対応方策一覧

【災害に備えた道路交通環境の整備】

- ・ 災害発生時の交通整理体制の構築

- ・ 信号機の非常用電源対策

- ・ 信号機の老朽化対策

事前に備えるべき目標

3 必要不可欠な行政機能と情報通信機能・情報サービスを確保すること

リスクシナリオ

3-3 電力供給停止等による情報通信防災・災害対応に必要な通信インフラ及び情報サービスの麻痺・長期機能停止

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

電力供給停止等による情報通信の麻痺→長期停止 **防災・災害対応に必要な通信インフラの麻痺・機能停止**を防ぐため、行政情報通信基盤の耐災害性の強化や非常用電源の整備等を図る。

また、住民等へ避難指示等を迅速・的確に伝達するため、市町村では防災無線、広報車、緊急速報メール等の多様な伝達手段の確保を図る。

対応方策一覧

【行政情報通信基盤の耐災害性の強化】

- ・電気通信事業者・放送事業者の災害対策
- ・県・市町村・防災関係機関における情報伝達
- ・無線通信の冗長化
- ・総合防災訓練の実施

【電力の供給停止対策】

- ・エネルギー供給事業者の災害対策
- ・行政施設の非常用電源の整備
- ・警察本部等の非常用電源の整備

【住民等への情報伝達の強化】

- ・住民等への情報伝達手段の多様化

【登山者等の安全対策】

- ・登山者等の安全対策

事前に備えるべき目標

4 経済活動を機能不全に陥らせないこと

リスクシナリオ

4-1 サプライチェーンの寸断等による経済活動の停滞

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

サプライチェーンの寸断等による経済活動の停滞を防ぐため、企業等における業務継続体制を強化するとともに、物流機能の維持・確保等を図る。

対応方策一覧

【企業における業務継続体制の強化】

- ・企業の業務継続計画作成の促進

【農林水産物の移出・流通対策】

- ・農林水産物の移出・流通対策

【物流機能の維持・確保】

- ・災害発生時の物流機能の確保
- ・輸送ルートの特長性の確保

【被災企業の金融支援】

- ・被災企業への金融支援等

【道路施設の防災対策】

- ・緊急輸送道路の機能強化・老朽化対策
- ・緊急輸送道路以外の道路の機能強化・老朽化対策
- ・市町村管理農道・林道の機能保全・老朽化対策
- ・道路における障害物の除去

【鉄道施設の耐災害性の確保・体制の整備】

- ・鉄道施設の耐災害性の確保・体制の整備
- ・青い森鉄道の耐災害性の確保・体制の整備

【港湾・漁港の防災対策】

- ・港湾・漁港施設の耐震化→老朽化対策耐震・耐

津波・耐浪化等の対策

【空港の防災対策】

- ・空港の業務継続体制の維持・確保等

—【大材育成を通じた産業の体質強化】—

- ・大材育成を通じた産業の体質強化

事前に備えるべき目標

4 経済活動を機能不全に陥らせないこと

リスクシナリオ

4-2 社会経済活動、サプライチェーンの維持に必要なエネルギー供給の停止

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

社会経済活動、サプライチェーンの維持に必要なエネルギー供給の停止を防ぐため、エネルギー供給事業者の災害対策や石油製品の安定供給体制の構築を推進するとともに、企業における業務継続体制の強化等を図る。

対応方策一覧

【エネルギー供給体制の強化】

- ・エネルギー供給事業者の災害対策
- ・石油元売会社からの供給確保
- ・石油燃料供給の確保

【石油コンビナート等防災計画に基づく防災体制の充実】

- ・石油コンビナート等防災計画に基づく特別防災区域の防災対策

【企業における業務継続体制の強化】

- ・企業の業務継続計画作成の促進

【道路施設の防災対策】

- ・緊急輸送道路の機能強化・老朽化対策
- ・緊急輸送道路以外の道路の機能強化・老朽化対策
- ・市町村管理農道・林道の機能保全・老朽化対策
- ・道路における障害物の除去

事前に備えるべき目標

4 経済活動を機能不全に陥らせないこと

リスクシナリオ

4-3 石油コンビナート等の損壊、火災、爆発等

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

石油コンビナート等の損壊、火災、爆発等を防ぐため、石油コンビナート等防災計画に基づく特別防災区域の防災対策を推進する。

対応方策一覧

【石油コンビナート等防災計画に基づく防災体制の充実】

- ・石油コンビナート等防災計画に基づく特別防災区域の防災対策

<p>事前に備えるべき目標</p> <p>4 経済活動を機能不全に陥らせないこと</p>			
<p>リスクシナリオ</p> <p>4-4 基幹的交通ネットワーク（陸上・海上・航空）の機能停止</p> <p style="text-align: right;">※人命に直接的・重大な影響を及ぼすリスクシナリオ</p>			
<p>リスクシナリオを回避するための対応方策の概要</p> <p>サプライチェーンの寸断等による経済活動の停滞を防ぐため、企業等における業務継続体制を強化するとともに、物流機能の維持・確保等を図る。</p>			
<p>対応方策一覧</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>【道路施設の防災対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急輸送道路の機能強化・老朽化対策 ・緊急輸送道路以外の道路の機能強化・老朽化対策 ・市町村管理農道・林道の機能保全・老朽化対策 ・幹線街路の整備 ・道路における障害物の除去 <p>【基幹的道路交通ネットワークの形成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基幹的道路交通ネットワークの形成 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>【鉄道施設の耐災害性の確保・体制の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道施設の耐災害性の確保・体制の整備 ・青い森鉄道施設の耐災害性の確保・体制の整備 <p>【港湾・漁港の防災対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・港湾・漁港施設の耐震化→老朽化対策耐震・耐津波・耐浪化等の対策 <ul style="list-style-type: none"> ・航路啓開等の協定に基づく連携体制 <p>【空港の防災対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空港の業務継続体制の維持・確保等 ・空港施設の機能維持・老朽化対策 </td> </tr> </table>		<p>【道路施設の防災対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急輸送道路の機能強化・老朽化対策 ・緊急輸送道路以外の道路の機能強化・老朽化対策 ・市町村管理農道・林道の機能保全・老朽化対策 ・幹線街路の整備 ・道路における障害物の除去 <p>【基幹的道路交通ネットワークの形成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基幹的道路交通ネットワークの形成 	<p>【鉄道施設の耐災害性の確保・体制の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道施設の耐災害性の確保・体制の整備 ・青い森鉄道施設の耐災害性の確保・体制の整備 <p>【港湾・漁港の防災対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・港湾・漁港施設の耐震化→老朽化対策耐震・耐津波・耐浪化等の対策 <ul style="list-style-type: none"> ・航路啓開等の協定に基づく連携体制 <p>【空港の防災対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空港の業務継続体制の維持・確保等 ・空港施設の機能維持・老朽化対策
<p>【道路施設の防災対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急輸送道路の機能強化・老朽化対策 ・緊急輸送道路以外の道路の機能強化・老朽化対策 ・市町村管理農道・林道の機能保全・老朽化対策 ・幹線街路の整備 ・道路における障害物の除去 <p>【基幹的道路交通ネットワークの形成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基幹的道路交通ネットワークの形成 	<p>【鉄道施設の耐災害性の確保・体制の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道施設の耐災害性の確保・体制の整備 ・青い森鉄道施設の耐災害性の確保・体制の整備 <p>【港湾・漁港の防災対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・港湾・漁港施設の耐震化→老朽化対策耐震・耐津波・耐浪化等の対策 <ul style="list-style-type: none"> ・航路啓開等の協定に基づく連携体制 <p>【空港の防災対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空港の業務継続体制の維持・確保等 ・空港施設の機能維持・老朽化対策 		

<p>事前に備えるべき目標</p> <p>4 経済活動を機能不全に陥らせないこと</p>			
<p>リスクシナリオ</p> <p>4-5 食料等の安定供給の停滞</p> <p style="text-align: right;">※人命に直接的・重大な影響を及ぼすリスクシナリオ</p>			
<p>リスクシナリオを回避するための対応方策の概要</p> <p>食料等の安定供給の停滞を防ぐため、自給食料の確保に向けて、平時から県産食料品の生産・供給体制の強化等を図る。</p>			
<p>対応方策一覧</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>【被災農林漁業者の金融支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被災農林漁業者への金融支援 <p>【食料流通機能の維持・確保】</p> <p>→食料市場の早期復旧体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時における適正価格の維持 ・卸売市場の防災・減災対策 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>【県産食料品の生産・供給体制の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食料生産体制の強化 ・多様なニーズに対応した県産品づくり ・県産食料品の供給を支える人づくり ・流域治水対策（農業水利施設の整備） ・園芸産地事業継続対策 ・農業水利施設等の防災対策→老朽化対策老朽化、豪雨・地震対策 ・食料品製造業者の供給体制強化 </td> </tr> </table>		<p>【被災農林漁業者の金融支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被災農林漁業者への金融支援 <p>【食料流通機能の維持・確保】</p> <p>→食料市場の早期復旧体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時における適正価格の維持 ・卸売市場の防災・減災対策 	<p>【県産食料品の生産・供給体制の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食料生産体制の強化 ・多様なニーズに対応した県産品づくり ・県産食料品の供給を支える人づくり ・流域治水対策（農業水利施設の整備） ・園芸産地事業継続対策 ・農業水利施設等の防災対策→老朽化対策老朽化、豪雨・地震対策 ・食料品製造業者の供給体制強化
<p>【被災農林漁業者の金融支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被災農林漁業者への金融支援 <p>【食料流通機能の維持・確保】</p> <p>→食料市場の早期復旧体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時における適正価格の維持 ・卸売市場の防災・減災対策 	<p>【県産食料品の生産・供給体制の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食料生産体制の強化 ・多様なニーズに対応した県産品づくり ・県産食料品の供給を支える人づくり ・流域治水対策（農業水利施設の整備） ・園芸産地事業継続対策 ・農業水利施設等の防災対策→老朽化対策老朽化、豪雨・地震対策 ・食料品製造業者の供給体制強化 		

事前に備えるべき目標

5 必要最低限のライフライン等を確保するとともに、これらの早期復旧を図ること

リスクシナリオ

5-1 電気・石油・ガス等のエネルギー供給機能の長期停止

※人命に直接的・重大な影響を及ぼすリスクシナリオ

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

電気・石油・ガス等のエネルギー供給機能の長期停止を防ぐため、エネルギー供給事業者の災害対策や石油製品の安定供給体制の構築を推進するとともに、再生可能エネルギーの導入促進等を図る。

対応方策一覧

【エネルギー供給体制の強化】

- ・エネルギー供給事業者の災害対策
- ・ガス供給施設の老朽化対策
- ・避難所等への燃料等供給の確保
- ・企業の業務継続計画作成の促進
- ・石油燃料供給の確保

【石油コンビナート等防災計画に基づく防災体制の充実】

- ・石油コンビナート等防災計画に基づく特別防災区域の防災対策

【再生可能エネルギーの導入促進】

- ・再生可能エネルギーの導入
- ・電力系統の接続制約等の改善

【道路施設の防災対策】

- ・緊急輸送道路の機能強化・老朽化対策
- ・緊急輸送道路以外の道路の機能強化・老朽化対策
- ・市町村管理農道・林道の機能保全・老朽化対策
- ・道路における障害物の除去

事前に備えるべき目標

5 必要最低限のライフライン等を確保するとともに、これらの早期復旧を図ること

リスクシナリオ

5-2 上水道等の長期間にわたる機能停止

※人命に直接的・重大な影響を及ぼすリスクシナリオ

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

上水道等の長期間にわたる機能停止を防ぐため、水道施設等の耐震化・老朽化対策や、早期復旧のための体制の整備等を図る。

対応方策一覧

【水道施設の防災対策】

- ・水道施設の耐震化・老朽化対策
- ・水道施設の応急対策
- ・水道事業者の業務継続計画の策定

【工業用水道施設の防災対策】

- ・工業用水施設の耐震化・老朽化対策

事前に備えるべき目標

5 必要最低限のライフライン等を確保するとともに、これらの早期復旧を図ること

リスクシナリオ

5-3 汚水処理施設等の長期間にわたる機能停止

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

汚水処理施設等の長期間にわたる機能停止を防ぐため、下水道施設や農業集落排水施設等の耐震化・老朽化対策等の推進を図る。

対応方策一覧

【下水道施設の機能確保】

- ・ 下水道事業の業務継続計画の策定
- ・ 農業集落排水施設等の耐震化・老朽化対策
- ・ 農業集落排水施設等の耐災害性の確保
- ・ 避難所等におけるトイレ機能の確保
- ・ [下水道施設の地震対策](#)
- ・ [下水道施設の老朽化対策](#)

【合併処理浄化槽への転換の促進】

- ・ 合併処理浄化槽への転換の促進

事前に備えるべき目標

5 必要最低限のライフライン等を確保するとともに、これらの早期復旧を図ること

リスクシナリオ

5-4 鉄道・幹線道路等の基幹インフラや地域交通ネットワークが分断する事態

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

鉄道・幹線道路等の基幹インフラや地域交通ネットワークが分断する事態を防ぐため、鉄道の運行確保やバス路線等の維持を図るとともに、道路施設や鉄道施設の防災対策を推進するとともに、バス路線等の維持を図る鉄道・道路施設の防災対策や高規格幹線道路等の整備を推進する。

対応方策一覧

【道路施設の防災対策】

- ・ 緊急輸送道路の機能強化・老朽化対策
- ・ 緊急輸送道路以外の道路の機能強化・老朽化対策
- ・ 市町村管理農道・林道の機能保全・老朽化対策
- ・ 道路における障害物の除去

【鉄道施設の耐災害性の確保・体制の整備】

- ・ 鉄道施設の耐災害性の確保・体制の整備
- ・ 青い森鉄道施設の耐災害性の確保・体制の整備

【路線バスの運行体制・離島航路の運航体制の維持】

- ・ 路線バスの運行体制の維持
- ・ むつ湾内航路の運航体制の維持

【鉄道の運行確保】

- ・ 鉄道事業者との連携による早期復旧
- ・ 青い森鉄道の災害対策

【基幹的道路交通ネットワークの形成】

- ・ 基幹的道路交通ネットワークの形成

【代替交通・輸送手段の確保】

- ・ 代替交通手段の確保
- ・ 代替輸送手段の確保
- ・ 輸送ルート of 代替性の確保

事前に備えるべき目標

5 必要最低限のライフライン等を確保するとともに、これらの早期復旧を図ること

リスクシナリオ

5-5 防災インフラの長期間にわたる機能不全

※人命に直接的・重大な影響を及ぼすリスクシナリオ

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

防災インフラが長期間に渡り機能不全となる事態を防ぐため、全ての分野の個別施設計画等の策定を進めるとともに、ライフサイクルコストの低減等に留意し、計画的に耐震化・長寿命化対策の推進を図る。

対応方策一覧

【防災インフラの耐震化・老朽化対策】

- ・ [病院施設の耐震化・老朽化対策](#)
- ・ [公共建築物・インフラ施設の耐震化・老朽化対策](#)
- ・ [県・市町村庁舎、消防本部庁舎等の耐震化・老朽化対策](#)
- ・ [警察施設の耐震化・老朽化対策](#)
- ・ [港湾・漁港施設の耐震・耐津波・耐浪化等の対策](#)
- ・ [緊急輸送道路の機能強化・老朽化対策](#)
- ・ [市町村管理農道・林道の機能保全・老朽化対策](#)
- ・ [海岸保全施設の老朽化対策](#)
- ・ [海岸陸間の管理体制の強化](#)
- ・ [農業水利施設等の老朽化、豪雨・地震対策](#)
- ・ [砂防関係施設の老朽化対策](#)
- ・ [水道施設の耐震化・老朽化対策](#)
- ・ [下水道施設の地震対策](#)
- ・ [下水道施設の老朽化対策](#)
- ・ [ダム施設の老朽化対策](#)

<p>事前に備えるべき目標</p> <p>6 重大な二次災害を発生させないこと</p>			
<p>リスクシナリオ</p> <p>6-1 ため池、ダム、防災施設インフラ、天然ダム等の損壊・機能不全による二次災害の発生</p>			
<p>リスクシナリオを回避するための対応方策の概要</p> <p>ため池、ダム、防災施設インフラ、天然ダム等の損壊・機能不全による二次災害の発生を防ぐため、ダム施設、防災施設インフラ等の老朽化対策等を推進するとともに、ため池ハザードマップの作成により危険地区の周知や防災意識の醸成を図る。</p>			
<p>対応方策一覧</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="vertical-align: top; width: 50%;"> <p>【ため池、ダム等の防災対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダム施設の老朽化対策 ・ダム施設等の非常用電源の整備 ・ため池ハザードマップの作成 ・山地災害危険地区等における治山対策 ・ため池施設の耐震化・老朽化対策防災重点農業用ため池の防災・減災対策 </td> <td style="vertical-align: top; width: 50%;"> <p>【防災施設の機能維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・砂防関係施設の整備 ・砂防関係施設の老朽化対策 ・農山村地域における防災対策 ・河道閉塞等による住民避難のための情報提供 ・流域治水対策（農業水利施設の整備） ・農業水利施設等の防災対策・老朽化対策老朽化、豪雨・地震対策 </td> </tr> </table>		<p>【ため池、ダム等の防災対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダム施設の老朽化対策 ・ダム施設等の非常用電源の整備 ・ため池ハザードマップの作成 ・山地災害危険地区等における治山対策 ・ため池施設の耐震化・老朽化対策防災重点農業用ため池の防災・減災対策 	<p>【防災施設の機能維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・砂防関係施設の整備 ・砂防関係施設の老朽化対策 ・農山村地域における防災対策 ・河道閉塞等による住民避難のための情報提供 ・流域治水対策（農業水利施設の整備） ・農業水利施設等の防災対策・老朽化対策老朽化、豪雨・地震対策
<p>【ため池、ダム等の防災対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダム施設の老朽化対策 ・ダム施設等の非常用電源の整備 ・ため池ハザードマップの作成 ・山地災害危険地区等における治山対策 ・ため池施設の耐震化・老朽化対策防災重点農業用ため池の防災・減災対策 	<p>【防災施設の機能維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・砂防関係施設の整備 ・砂防関係施設の老朽化対策 ・農山村地域における防災対策 ・河道閉塞等による住民避難のための情報提供 ・流域治水対策（農業水利施設の整備） ・農業水利施設等の防災対策・老朽化対策老朽化、豪雨・地震対策 		

<p>事前に備えるべき目標</p> <p>6 重大な二次災害を発生させないこと</p>			
<p>リスクシナリオ</p> <p>6-2 有害物質の大規模流出・拡散</p>			
<p>リスクシナリオを回避するための対応方策の概要</p> <p>有害物質の大規模流出・拡散による二次災害の発生を防ぐため、有害物質取扱事業所等に対する監視・検査指導等を通じた流出・拡散防止対策の推進や、坑廃水処理関係施設の稼働の確保等を図る。</p>			
<p>対応方策一覧</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="vertical-align: top; width: 50%;"> <p>【有害物質の流出・拡散防止対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有害物質の流出・拡散防止対策 ・公共用水域等への有害物質の流出・拡散防止対策 ・毒性ガスの大規模漏えいに係る保安対策 ・有害な産業廃棄物の流出等防止対策 ・大気中への有害物質の飛散防止対策 ・PCB廃棄物の流出・紛失等防止対策 </td> <td style="vertical-align: top; width: 50%;"> <p>【坑廃水関係施設の稼働の継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・坑廃水処理関係施設の稼働の継続 <p>【有害物質流出時の処理体制の構築】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有害物質流出時の処理体制の構築 ・有害物質の大規模流出・拡散対応 </td> </tr> </table>		<p>【有害物質の流出・拡散防止対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有害物質の流出・拡散防止対策 ・公共用水域等への有害物質の流出・拡散防止対策 ・毒性ガスの大規模漏えいに係る保安対策 ・有害な産業廃棄物の流出等防止対策 ・大気中への有害物質の飛散防止対策 ・PCB廃棄物の流出・紛失等防止対策 	<p>【坑廃水関係施設の稼働の継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・坑廃水処理関係施設の稼働の継続 <p>【有害物質流出時の処理体制の構築】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有害物質流出時の処理体制の構築 ・有害物質の大規模流出・拡散対応
<p>【有害物質の流出・拡散防止対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有害物質の流出・拡散防止対策 ・公共用水域等への有害物質の流出・拡散防止対策 ・毒性ガスの大規模漏えいに係る保安対策 ・有害な産業廃棄物の流出等防止対策 ・大気中への有害物質の飛散防止対策 ・PCB廃棄物の流出・紛失等防止対策 	<p>【坑廃水関係施設の稼働の継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・坑廃水処理関係施設の稼働の継続 <p>【有害物質流出時の処理体制の構築】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有害物質流出時の処理体制の構築 ・有害物質の大規模流出・拡散対応 		

事前に備えるべき目標

6 重大な二次災害を発生させないこと

リスクシナリオ

6-3 原子力施設からの放射性物質の放出

※人命に直接的・重大な影響を及ぼすリスクシナリオ

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

原子力施設からの放射性物質の放出による二次災害の発生を防ぐため、国・事業者が責任をもって施設の安全性確保に取り組むことはもとより、県としても平時から安全協定に基づく立入調査や環境放射線モニタリング等を実施する。

また、万が一の原子力災害の発生に備え、地域防災計画の見直し、防災訓練の実施や防災資機材の整備など、防災対策の充実・強化を図る。

さらに、施設の安全性確保に係る事業者の対策や国の対応について、県議会、関係市町村長、原子力政策懇話会、県民説明会等の意見を踏まえつつ、安全性を検証していく。

対応方策一覧

- ・原子力施設の安全対策
- ・原子力施設に係る環境放射線モニタリング
- ・原子力災害時の防災対策
- ・原子力施設の安全性検証
- ・[放射線監視体制の機能維持に関する強化対策](#)

事前に備えるべき目標

6 重大な二次災害を発生させないこと

リスクシナリオ

6-4 農地・森林等の荒廃による被害の拡大

※人命に直接的・重大な影響を及ぼすリスクシナリオ

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

農地・森林等の荒廃による被害の拡大を防ぐため、荒廃農地の発生防止・利用促進や森林資源の適切な保全管理を推進するとともに、砂防・治山施設等の老朽化対策等を実施する。

対応方策一覧

【荒廃農地の発生防止・利用促進】

- ・農地利用の最適化支援
- ・農地の生産基盤の整備推進

【森林資源の適切な保全管理】

- ・森林の計画的な保全管理
- ・森林整備事業等の森林所有者への普及啓発
- ・[自然公園施設の整備・老朽化対策](#)

【農山村地域における防災対策】

- ・農山村地域における防災対策

【農林水産業の生産基盤の防災対策】

- ・[流域治水対策（農業水利施設の整備）](#)

事前に備えるべき目標

6—重大な二次災害を発生させないこと

リスクシナリオ

6-57-4 風評被害等による地域経済等への甚大な影響 (7-4へ移動)

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

風評被害等による地域経済等への甚大な影響の発生を防ぐため、平時より県産品に関する正確な情報を発信する体制の整備や、物流関係者との信頼関係の構築等を図る。

対応方策一覧

—【風評被害の発生防止】—

→ 正確な情報発信による風評被害の防止

→ 物流関係者との信頼関係の構築

—【風評被害の軽減対策】—

→ 風評被害の軽減対策

事前に備えるべき目標

7 地域社会・経済が迅速にかつ従前より強靱な姿で再建・回復できる条件を整備すること

リスクシナリオ

7-1 大量に発生する災害廃棄物の処理の停滞により復旧・復興が大幅に遅れる事態

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

大量に発生する災害廃棄物の処理の停滞により復旧・復興が大幅に遅れる事態を防ぐため、市町村における災害廃棄物処理計画の策定を促進するとともに、災害廃棄物等の処理に関する連携体制の強化等を図る。

対応方策一覧

【災害廃棄物の処理体制の構築】

- ・災害廃棄物処理計画の策定
- ・災害廃棄物等の処理に関する連携の強化
- ・大気中への有害物質の飛散防止対策
- ・農林水産業に係る災害廃棄物等の処理に関する連携の強化

事前に備えるべき目標

7 地域社会・経済が迅速にかつ従前より強靱な姿で再建・回復できる条件を整備すること

リスクシナリオ

7-2 道路啓開等の復旧・復興を担う人材等の不足により復旧・復興が大幅に遅れる事態

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

道路啓開等の復旧・復興を担う人材等の不足により復旧・復興が大幅に遅れる事態を防ぐため、受援・連携体制の構築を図るとともに、建設業・農林水産業の担い手の育成・確保や産業を支える人材の育成等を図る。

対応方策一覧

【防災ボランティア受入体制の構築】

- ・防災ボランティア受入体制の構築
- ・防災ボランティアの育成

【技術職員等の確保】

- ・復旧作業等に係る技術者等の確保
- ・災害被災地応援の受入体制の構築

【建設業の担い手の育成・確保】

- ・建設業の担い手の育成・確保
- ・農林水産業の担い手育成・確保
- ・農業の担い手育成・確保

- ・林業の担い手育成・確保
- ・水産業の担い手育成・確保

【キャリア教育の推進】

- ・キャリア教育等の推進

【防災人材育成】

- ・災害医療・救急救護・福祉支援に携わる人材の育成
- ・自主防災組織の設立・活性化支援
- ・消防力の強化
- ・消防団の充実
- ・被害認定調査等の体制確保

【人材育成を通じた産業の体質強化】

- ・産業を支える人材の育成

事前に備えるべき目標

7 地域社会・経済が迅速にかつ従前より強靱な姿で再建・回復できる条件を整備すること

リスクシナリオ

7-3 地域コミュニティの崩壊、治安の悪化等により復旧・復興が大幅に遅れる事態

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

地域コミュニティの崩壊、治安の悪化等により復旧・復興が大幅に遅れる事態を防ぐため、応急仮設住宅を迅速に供給する体制を確保するとともに、地域コミュニティ・農山漁村の活性化や地域を支えるリーダーの育成等を図る。

対応方策一覧

【地域コミュニティ力の強化】

- ・ 地域防災力の向上・コミュニティ再生
- ・ 地域コミュニティ力の強化
- ・ 農山漁村の活性化
- ・ 地域コミュニティを牽引する人材の育成
- ・ 地域を支えるリーダーの育成
- ・ 消防団の充実

【被災地域の治安維持】

- ・ 被災地の社会秩序の維持

【応急仮設住宅の確保等】

- ・ 応急仮設住宅の迅速な供給

事前に備えるべき目標

7 地域社会・経済が迅速にかつ従前より強靱な姿で再建・回復できる条件を整備すること

リスクシナリオ

~~**7-4 鉄道・幹線道路等の基幹インフラの損壊により復旧・復興が大幅に遅れる事態
(5-4へ統合)**~~

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

~~鉄道・幹線道路等の基幹インフラの損壊により復旧・復興が大幅に遅れる事態を防ぐため、鉄道の運行確保や代替交通・輸送手段の確保を図るとともに、道路施設の防災対策や高規格幹線道路等の整備を推進する。~~

対応方策一覧

~~**【鉄道の運行確保】**~~

- ~~→ 鉄道事業者との連携による早期復旧~~
- ~~→ 青い森鉄道の災害対策~~

~~**【道路施設の防災対策】**~~

- ~~→ 緊急輸送道路の機能強化・老朽化対策~~
- ~~→ 緊急輸送道路以外の道路の機能強化・老朽化対策~~
- ~~→ 市町村管理農道・林道の機能保全・老朽化対策~~

~~**【基幹的道路交通ネットワークの形成】**~~

- ~~→ 基幹的道路交通ネットワークの形成~~

~~**【代替交通・輸送手段の確保】**~~

- ~~→ 代替交通手段の確保~~
- ~~→ 代替輸送手段の確保~~
- ~~→ 輸送ルートの代替性の確保~~
- ~~→ 道路における障害物の除去~~

事前に備えるべき目標

7 地域社会・経済が迅速にかつ従前より強靱な姿で再建・回復できる条件を整備すること

リスクシナリオ

6-57-4 風評被害等による地域経済等への甚大な影響（6-5から移動）

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

風評被害等による地域経済等への甚大な影響の発生を防ぐため、平時より県産品に関する正確な情報を発信する体制の整備や、物流関係者との信頼関係の構築等を図る。

対応方策一覧

【風評被害の発生防止】

・ 正確な情報発信による**県産農林水産品の**風評被害 \oplus 防止

・ 物流関係者との信頼関係の構築

【風評被害の軽減対策】

・ **県産農林水産品の**風評被害 \oplus 軽減対策

基本 目標	事前に備えるべき目標	起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）
I. 人命の保護が最大限図られる II. 国家及び社会の重要な機能が致命的な障害を受けず維持される III. 国民の財産及び公共施設に係る被害の最小化 IV. 迅速な復旧復興	1 直接死を最大限防ぐ	1-1 住宅・建物・交通施設等の複合的・大規模倒壊や不特定多数が集まる施設の倒壊による多数の死傷者の発生 1-2 密集市街地や不特定多数が集まる施設における大規模火災による多数の死傷者の発生 1-3 広域にわたる大規模津波等による多数の死傷者の発生 1-4 突発的又は広域かつ長期的な市街地等の浸水による多数の死傷者の発生 1-5 大規模な火山噴火・土砂災害（深層崩壊）等による多数の死傷者の発生 1-6 暴風雪や豪雪等に伴う多数の死傷者の発生
	2 救助・救急、医療活動が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保する	2-1 被災地での食料・飲料水・電力・燃料等、生命に関わる物資・エネルギー供給の停止 2-2 多数かつ長期にわたる孤立地域等の同時発生 2-3 自衛隊、警察、消防、海保等の被災等による救助・救急活動等の絶対的不足 2-4 想定を超える大量の帰宅困難者の発生、混乱 2-5 医療施設及び関係者の絶対的不足・被災、支援ルート途絶、エネルギー供給途絶による医療機能の麻痺 2-6 被災地における疫病・感染症等の大規模発生 2-7 劣悪な避難生活環境、不十分な健康管理による多数の被災者の健康状態の悪化・死者の発生
	3 必要不可欠な行政機能は確保する	3-1 被災による司法機能、警察機能の大幅な低下による治安の悪化、社会の混乱 3-2 首都圏等での中央官庁機能の機能不全 3-3 地方行政機関の職員・施設等の被災による機能の大幅な低下
	4 必要不可欠な情報通信機能・情報サービスは確保する	4-1 防災・災害対応に必要な通信インフラの麻痺・機能停止 4-2 テレビ・ラジオ放送の中断等により災害情報が必要な者に伝達できない事態 4-3 災害時に活用する情報サービスが機能停止し、情報の収集・伝達ができず、避難行動や救助・支援が遅れる事態
	5 経済活動を機能不全に陥らせない	5-1 サプライチェーンの寸断等による企業の生産力低下による国際競争力の低下 5-2 エネルギー供給の停止による、社会経済活動・サプライチェーンの維持への甚大な影響 5-3 コンビナート・重要な産業施設の損壊、火災、爆発等 5-4 海上輸送の機能の停止による海外貿易への甚大な影響 5-5 太平洋ベルト地帯の幹線が分断するなど、基幹的陸上海上交通ネットワークの機能停止による物流・人流への甚大な影響 5-6 複数空港の同時被災による国際航空輸送への甚大な影響 5-7 金融サービス・郵便等の機能停止による国民生活・商取引等への甚大な影響 5-8 食料等の安定供給の停滞 5-9 異常渇水等による用水供給途絶に伴う、生産活動への甚大な影響
	6 ライフライン、燃料供給関連施設、交通ネットワーク等の被害を最小限に留めるとともに、早期に復旧させる	6-1 電力供給ネットワーク（発電所、送配電設備）や都市ガス供給、石油・LPガスサプライチェーン等の長期間にわたる機能の停止 6-2 上水道等の長期間にわたる供給停止 6-3 汚水処理施設等の長期間にわたる機能停止 6-4 新幹線等基幹的交通から地域交通網まで、陸海空の交通インフラの長期間にわたる機能停止 6-5 防災インフラの長期間にわたる機能不全
	7 制御不能な複合災害・二次災害を発生させない	7-1 地震に伴う市街地の大規模火災の発生による多数の死傷者の発生 7-2 海上・臨海部の広域複合災害の発生 7-3 沿線・沿道の建物倒壊に伴う閉塞、地下構造物の倒壊等に伴う陥没による交通麻痺 7-4 ため池、防災インフラ、天然ダム等の損壊・機能不全や堆積した土砂・火山噴出物の流出による多数の死傷者の発生 7-5 有害物質の大規模拡散・流出による国土の荒廃 7-6 農地・森林等の被害による国土の荒廃
	8 社会・経済が迅速かつ従前より強靱な姿で復興できる条件を整備する	8-1 大量に発生する災害廃棄物の処理の停滞により復興が大幅に遅れる事態 8-2 復興を支える人材等（専門家、コーディネーター、労働者、地域に精通した技術者等）の不足、より良い復興に向けたビジョンの欠如等により復興できなくなる事態 8-3 広域地盤沈下等による広域・長期にわたる浸水被害の発生により復興が大幅に遅れる事態 8-4 貴重な文化財や環境的資産の喪失、地域コミュニティの崩壊等による有形・無形の文化の衰退・損失 8-5 事業用地の確保、仮設住宅・仮店舗・仮事業所等の整備が進まず復興が大幅に遅れる事態 8-6 国際的風評被害や信用不安、生産力の回復遅れ、大量の失業・倒産等による国家経済等への甚大な影響

(5か年加速化対策の概要と対策例)

1. 基本的な考え方

- 近年、気候変動の影響により気象災害が激甚化・頻発化し、南海トラフ地震等の大規模地震は切迫している。また、高度成長期以降に集中的に整備されたインフラが今後一斉に老朽化するが、適切な対応をしなければ負担の増大のみならず、社会経済システムが機能不全に陥るおそれがある。
- このような危機に打ち勝ち、国民の生命・財産を守り、社会の重要な機能を維持するため、防災・減災、国土強靱化の取組の加速化・深化を図る必要がある。また、国土強靱化の施策を効率的に進めるためにはデジタル技術の活用等が不可欠である。
- このため、「激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策」「予防保全型インフラメンテナンスへの転換に向けた老朽化対策の加速」「国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進」の各分野について、更なる加速化・深化を図ることとし、令和7年度までの5か年に追加的に必要となる事業規模等を定め、重点的・集中的に対策を講ずる。

2. 重点的に取り組む対策・事業規模

- 対策数：**123対策**
- 追加的に必要となる事業規模：**おおむね15兆円程度を目標**

1 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策[78対策] **おおむね12.3兆円程度**

(1) 人命・財産の被害を防止・最小化するための対策[50対策]

- ・流域治水対策（河川、下水道、砂防、海岸、農業水利施設の整備、水田の貯留機能向上、国有地を活用した遊水地・貯留施設の整備加速）（国土交通省、農林水産省、財務省）
- ・港湾における津波対策、地震時等に著しく危険な密集市街地対策、災害に強い市街地形成に関する対策（国土交通省）
- ・防災重点農業用ため池の防災・減災対策、山地災害危険地区等における治山対策、漁港施設の耐震・耐津波・耐浪化等の対策（農林水産省）
- ・医療施設の耐災害性強化対策、社会福祉施設等の耐災害性強化対策（厚生労働省）
- ・警察における災害対策に必要な資機材に関する対策、警察施設の耐災害性等に関する対策（警察庁）
- ・大規模災害等緊急消防援助隊充実強化対策、地域防災力の中核を担う消防団に関する対策（総務省）等

(2) 交通ネットワーク・ライフラインを維持し、国民経済・生活を支えるための対策[28対策]

- ・高規格道路のミッシングリンク解消及び4車線化、高規格道路と直轄国道とのダブルネットワーク化等による道路ネットワークの機能強化対策、市街地等の緊急輸送道路における無電柱化対策（国土交通省）
- ・送電網の整備・強化対策、SS等の災害対応能力強化対策（経済産業省）
- ・水道施設（浄水場等）の耐災害性強化対策、上水道管路の耐震化対策（厚生労働省）等

2 予防保全型インフラメンテナンスへの転換に向けた老朽化対策[21対策] **おおむね2.7兆円程度**

- ・河川管理施設・道路・港湾・鉄道・空港の老朽化対策、老朽化した公営住宅の建替による防災・減災対策（国土交通省）
- ・農業水利施設等の老朽化、豪雨・地震対策（農林水産省）
- ・公立小中学校施設の老朽化対策、国立大学施設等の老朽化・防災機能強化対策（文部科学省）等

3 国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進[24対策] **おおむね0.2兆円程度**

(1) 国土強靱化に関する施策のデジタル化[12対策]

- ・連携型インフラデータプラットフォームの構築等、インフラ維持管理に関する対策（内閣府）
- ・無人化施工技術の安全性・生産性向上対策、ITを活用した道路管理体制の強化対策（国土交通省）等

(2) 災害関連情報の予測、収集・集積・伝達の高度化[12対策]

- ・スーパーコンピュータを活用した防災・減災対策、高精度予測情報等を通じた気候変動対策（文部科学省）
- ・線状降水帯の予測精度向上等の防災気象情報の高度化対策、河川、砂防、海岸分野における防災情報等の高度化対策（国土交通省）

合計

おおむね15兆円程度

3. 対策の期間

- 事業規模等を定め集中的に対策を実施する期間：**令和3年度（2021年度）～令和7年度（2025年度）の5年間**

4. (参考) 青森県に関連する40対策

1 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策[25対策]

(1) 人命・財産の被害を防止・最小化するための対策[15対策]

- ・流域治水対策（河川施設等、（農業水利施設の整備）、水田の貯留機能向上）（**県土、農林**）
- ・防災重点農業用ため池の防災・減災対策、山地災害危険地区等における治山対策、山地災害危険地区等における森林整備対策、漁港施設の耐震・耐津波・耐浪化等の対策（**農林**）
- ・自然公園の施設等に関する対策（**観光**）
- ・港湾における津波対策、地震時等に著しく危険な密集市街地対策、住宅・建築物の耐震化による地震対策、災害に強い市街地形成に関する対策、大規模盛土造成地等の耐震化に向けた対策、防災公園の機能確保に関する対策、グリーンインフラを活用した防災・減災対策（**県土**）
- ・PCB 早期処理に向けた対策（**環境**）
- ・放射線監視体制の機能維持に関する強化対策（**危機管理**）

(2) 交通ネットワーク・ライフラインを維持し、国民経済・生活を支えるための対策[10対策]

- ・高規格道路のミッシングリンク解消及び4車線化及び高規格道路と県道とのダブルネットワーク化等による道路ネットワークの機能強化対策（**県土、農林**）
- ・道路の法面・盛土の土砂災害防止対策、市街地等の緊急輸送道路における無電柱化対策、渡河部の橋梁や河川に隣接する道路構造物の流失防止対策、港湾の耐災害性強化対策（地震対策、高潮・高波対策、走錨対策、埋塞対策）、空港の耐災害性強化対策（護岸嵩上げ・排水機能強化による浸水対策、滑走路等の耐震対策等）、工業用水道の施設に関する耐災害性強化対策、下水道施設の地震対策（**県土**）
- ・卸売市場の防災・減災対策、園芸産地事業継続対策（**農林**）

2 予防保全型インフラメンテナンスへの転換に向けた老朽化対策[11対策]

- ・河川管理施設の老朽化対策及び高度化・効率化対策、ダム管理施設の老朽化対策及び堆砂対策、砂防関係施設の長寿命化対策、海岸保全施設の老朽化対策、下水道施設の老朽化対策、都市公園の老朽化対策、老朽化した公営住宅の建替による防災・減災対策、空港の老朽化対策（**県土**）
- ・道路施設の老朽化対策、港湾・漁港における老朽化対策（**県土、農林**）
- ・農業水利施設等の老朽化、豪雨・地震対策（**農林**）

3 国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進[4対策]

(1) 国土強靱化に関する施策のデジタル化[3対策]

- ・高無人化施工技術の安全性・生産性向上対策、道施工の効率化・省力化に資する対策、国土強靱化施策を円滑に進めるためのインフラDX等の推進に係る対策（**県土**）

(2) 災害関連情報の予測、収集・集積・伝達の高度化[1対策]

- ・高河川、砂防、海岸分野における防災情報等の高度化対策（**県土**）

起きてはならない最悪の事態ごとの対応方策

事前に備えるべき目標 1 人命の保護が最大限図られること
 リスクシナリオ 1-3 異常気象等による広域的かつ長期的な市街地の浸水や河川の大規模氾濫

事前に備えるべき目標 1 人命の保護が最大限図られること

リスクシナリオ 1-3 異常気象等による広域的かつ長期的な市街地の浸水や河川の大規模氾濫

※人命に直接的・重大な影響を及ぼすリスクシナリオ

現在の取組・施策	脆弱性評価
【河川改修等の治水対策】	
<河川改修等の治水対策> 洪水災害に対する安全度の向上を図るため、国の防災・安全交付金等を活用し、河川改修等の整備を推進している。	県管理河川全体の要改修延長（1,216.5km）に対する平成27年度末の河川整備率が38.8%と低いことから、計画規模降雨による氾濫から浸水被害を防ぐため、河川改修等の対策を進める必要がある。
【河川・ダム施設等の防災対策】	
<河川関連施設の耐震化・老朽化対策> 地震等による堤防やダムの損傷等防止し、津波等に対する堤防高を確保するため、老朽化対策や耐震対策を推進している。	一部再掲 堤防やダム等の河川関連施設の状況を適切に把握するとともに、計画的に耐震化・老朽化対策を実施していく必要がある。
<土地利用状況を考慮した治水対策> 河川における上下流バランスを考慮しつつ、地域特性に合った効果的な整備を図るため、輪中堤の整備や宅地嵩上げ等によるハード整備と土地利用規制等によるソフト対策を組み合わせた治水対策を推進している。	市街化の進展に伴う洪水時の河川への流出量の増大に加え、近年の豪雨の頻発・激化に対応するため、その流域の持つ保水・遊水機能を確保するなど、総合的な治水対策を推進する必要がある。また、早期の堤防整備などの対策が困難な地域においては、輪中堤等によるハード整備と土地利用規制等によるソフト対策を組み合わせるなど、土地利用状況を考慮した治水対策を推進する必要がある。
<流域治水対策> ……（現在の流域治水の状況について記載する）	……（流域治水に係る脆弱性を評価し記載）

【リスクシナリオを回避するための対応方策の概要】

広域的かつ長期的な市街地等の浸水や河川の大規模氾濫による被害の発生を防ぐため、河川・ダム施設等の防災対策を推進するとともに、警戒・避難体制の整備や住民の避難場所の確保、救助活動を実施する消防力の向上等を図る。

重点	対応方策（今後必要となる取組・施策）	取組主体	重要業績評価指標（参考値）
○	洪水災害に対する安全度の向上を図るため、引き続き、国の防災・安全交付金等を活用し、計画的かつ効率的に河川改修等を推進する。	県土整備部 市町村	県管理の河川整備率 38.8%【H28.3末】 →39.5%【H32.3末】
○	堤防やダム等の河川関連施設について、国の交付金等を活用し、計画的に耐震化・老朽化対策等を実施していく。	県土整備部	
	引き続き、河川の流域が持つ保水・遊水機能を確保するなどの総合的な治水対策を推進するほか、早期の堤防整備などの対策が困難な地域においては、輪中堤等によるハード整備と土地利用規制等によるソフト対策を組み合わせるなど、土地利用状況を考慮した治水対策を推進する。	県土整備部	
	例) 河川、下水道、砂防、海岸、農業水利施設の整備、水田の貯留機能向上及び国有地を活用した遊水地・貯留施設の整備を加速させる等の対策を記入	県土整備部	（評価指標） ●●%【R3】 → ●●%

① 5か年加速化対策を踏まえた対応方策等の追加

② 個別の取組（「現在の取組・施策」、「脆弱性評価」、「対応方策」）等の内容更新

③ 重要業績評価指標の更新

3 国からの通知による見直し (地域計画に関連する主な事業に総事業費等を追加)

1 箇所、施設、路線等の単位で記載する場合

事業名	箇所	数量	期間	総事業費 (百万円)	5か年 加速化 対策事 業	現況	計画における対応方策名
浄化槽整備費補助	〇〇箇所	N=〇施設	R1~R8	123	該当	30% (令和3年9月)	合併処理浄化槽への転換の促進
鳥獣被害防止総合対策事業							食料生産体制の強化

令和4年度から追加

2 付表を添付する場合

事業名	箇所	数量	期間	総事業費 (百万円)	5か年 加速化 対策事 業	現況	計画における対応方策名
道路事業 (交付金)	付表「道路1~道路10」のとおり						

「青森県国土強靱化地域計画に関連する主な事業」に係る事業計画の詳細

令和3年9月30日現在

詳細番号	事業計画の詳細									
道路	事業計画名等	安全で安心な暮らしを守るための道づくり(防災・安全)				計画の期間	R1 ~ R5			
	国土強靱化地域計画の対応方策名									
	路線・河川・施設名等	事業名・事業概要等	市町村名等	数量	単位	事業費	事業期間	現況	加速化	
	亡野・大川目線(易国間)	新設	風間浦村	0.9	km	500	R1 ~ R2		該当	
	赤石溪流線(一ツ森町)	バイパス	鱒ヶ沢町	0.7	km	38	R1		該当	
	名久井岳公園線(法光寺)	バイパス	南郷町	2.4	km	160	R3 ~ R4			
	松代町蓬奥赤石(俣)線(深谷町I)	現道拡幅	鱒ヶ沢町	1.9	km	387	R1 ~ R3		該当	
	むつ恐上公園大畑線(栗色沢)	現道拡幅	むつ市	0.9	km		R1			
	名川着上線(奥吉踏切)	現道拡幅							該当	
	菰樋六造線(六造永田)	視距改良					~ R4			
	国道338号(菅野部)	視距改良					~ R4			
	国道101号(六造越水)	歩道整備					~ R2			

令和4年度から追加

地域計画に関連する主な事業は、毎年度更新する。